(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)特許出願公表番号
特表2019-509779
(P2019-509779A)
(43)公表日　平成31年4月11日(2019.4.11)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A45D 40/08	***(2006.01)***	A45D	40/08		3E014
A45D 40/04	***(2006.01)***	A45D	40/04	B	4C083
B65D 83/76	***(2006.01)***	B65D	83/76	130	
A61Q 1/04	*(2006.01)*	A61Q	1/04		

審査請求 未請求　予備審査請求 未請求　（全 18 頁）

(21)出願番号　特願2018-539432 (P2018-539432)
(86)(22)出願日　平成29年1月30日 (2017.1.30)
(85)翻訳文提出日　平成30年7月27日 (2018.7.27)
(86)国際出願番号　PCT/FR2017/050208
(87)国際公開番号　WO2017/129928
(87)国際公開日　平成29年8月3日 (2017.8.3)
(31)優先権主張番号　1650761
(32)優先日　平成28年1月29日 (2016.1.29)
(33)優先権主張国　フランス(FR)

(71)出願人　513021615
シャネル　パフューム　ボーテ
フランス国，エフ－９５５２１　ヌイイ－シュル－セーヌ，アブニュ　シャルル　ドゥ　ゴール　１３５
(74)代理人　100099759
弁理士　青木　篤
(74)代理人　100123582
弁理士　三橋　真二
(74)代理人　100187702
弁理士　福地　律生
(74)代理人　100165995
弁理士　加藤　寿人

最終頁に続く

(54)【発明の名称】メッシュを備える化粧物品

(57)【要約】
化粧物品（１）であって：
－２０℃で測定したとき、０．２Ｎ及び２０Ｎの間の破壊指数を有する、化粧製品の固体ブロック（１４）と、－前記製品が通過するように配置されており、貫通孔（１６）を有し、その最大寸法が、５０μm及び３００μmの間である、少なくとも１つのメッシュ（１５）とを備える、前記化粧物品（１）。
【選択図】図１

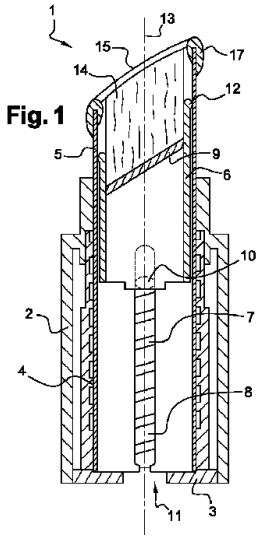

Fig. 1

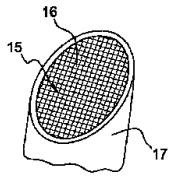

Fig. 2

【特許請求の範囲】
【請求項１】
化粧物品（１）であって：
－２０℃で測定したとき、０．２Ｎ及び２０Ｎの間の破壊指数を有する、化粧製品の固体ブロック（１４）と、
－前記製品が通過するように配置されており、貫通孔（１６）を有し、その最大寸法が、５０μｍ及び４５０μｍの間である、少なくとも１つのメッシュ（１５）と
を備える、前記化粧物品（１）。
【請求項２】
前記メッシュ（１５）又は前記メッシュの少なくとも１つが、前記孔（１６）間の最小距離が１００μｍ及び３００μｍの間であるように配置されている、請求項１に記載の物品（１）。
【請求項３】
前記メッシュ（１５）又は前記メッシュの少なくとも１つが、製織されている、請求項１～２のいずれか１項に記載の物品（１）。
【請求項４】
前記メッシュ（１５）又は前記メッシュの少なくとも１つが、前記孔（１６）を有するプレートを備える、請求項１～３のいずれか１項に記載の物品（１）。
【請求項５】
前記メッシュ又は前記メッシュの少なくとも１つにおける全ての前記孔（１６）が、積層可能な輪郭を有する、請求項１～４のいずれか１項に記載の物品（１）。
【請求項６】
前記メッシュ（１５）又は前記メッシュの少なくとも１つが、積層可能でない輪郭を有する孔（１６）を有する、請求項１～５のいずれか１項に記載の物品（１）。
【請求項７】
前記孔（１６）の輪郭が、以下の形状：矩形、五角形、六角形、八角形、円形、卵形又は楕円形；の１つを有する、請求項１～６のいずれか１項に記載の物品（１）。
【請求項８】
少なくとも２つのメッシュ（１５）を、前記製品が前記メッシュを通過する方向に、１つを他のものの後に備える、請求項１～７のいずれか１項に記載の物品（１）。
【請求項９】
前記２つのメッシュ（１５）が、上流及び下流メッシュを形成しており、前記上流メッシュにおける孔（１６）の最大寸法が、前記下流メッシュにおける孔の最大寸法より大きく、これら２つの寸法間の比は、好ましくは、１を超えかつ１００以下である、請求項８に記載の物品（１）。
【請求項１０】
少なくとも１つの中間メッシュ（１５）を前記上流メッシュと前記下流メッシュとの間にさらに備え、前記中間メッシュにおける前記孔（１６）の最大寸法が、前記上流メッシュにおける前記孔の最大寸法及び前記下流メッシュにおける前記孔の最大寸法の間である、請求項９に記載の物品（１）。
【請求項１１】
－らせん状の傾斜（７）を有する本体（２）と、
－少なくとも１つの直線状傾斜（８）を有する製品分布チューブ（５）において、前記メッシュ（１５）が、前記チューブの遠位端に位置している、前記チューブと、
－前記チューブの内側に前記製品ブロック（１４）をスライドさせるようになっているピストン（６）において、前記本体の前記らせん状の傾斜及び前記チューブの前記直線状傾斜に沿ってそれぞれ進行するようになっている２つのスタッド（１０）に取り付けられている、前記ピストンと
をさらに備える、請求項１～１０のいずれか１項に記載の物品（１）。
【請求項１２】

前記化粧製品が、唇用の化粧製品である、請求項１～１１のいずれか１項に記載の物品（１）。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、特に唇用の化粧物品に関する。

【背景技術】

【０００２】

口紅は、チューブにおいて縦移動で移動可能にハウジングされた、「ビュレット」と呼ばれる、化粧製品のチューブ及びブロックを典型的には備える。ビュレット配合物は、ビュレットが、強度、特に機械的及び熱的に良好な強度を与えることを確実にしながらも、最も良好な可能なメイクアップ結果を得るように選択される。したがって、ビュレットの４つの主成分、すなわち、ワックス、オイル、バター及び顔料の割合が調整され得る。ワックスは、構造要素として作用する。

【０００３】

良好なメイクアップ結果、例えば、より良好な色、光沢又はマットな結果を得るために、ビュレットの堅牢性を、例えばオイル及びバターの割合を増加させることによって低減させることが好ましい。そして、得られる配合物は、より可撓性であり、又はより柔軟である。しかし、この増加は、ビュレットの機械的強度を低下させ、これによりビュレットをより壊れ易くする。また、この増加は、ビュレットの最初の配合物を変更するだけでなく、消費者に負の視覚影響を及ぼす滲出現象を起こす。この点において、使用者は、数年間このタイプの化粧物品を保持する傾向にあることを記憶されたい。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

本発明の目的は、したがって、化粧物品を改良することである。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

本発明は、したがって、化粧物品であって：

－２０℃で測定したとき、０．２Ｎ及び２０Ｎの間の破壊指数を有する、化粧製品の固体ブロックと、

－上記化粧製品が通過するように配置されており、貫通孔を有し、その最大寸法が、５０μｍ及び４５０μｍの間である、少なくとも１つのメッシュと

を備える、化粧物品に関する。

【０００６】

破壊指数は、ブロックの機械的強度を示す。上記の値の範囲において、化粧製品の固体ブロックは、例えば、アプリケータが、ハンドバッグにおいて又は使用時に持ち運ばれているときに落下して強打されるとき、ビュレットが破壊するリスクを制限するのに充分に強固である。

【０００７】

使用の際、製品ブロックは、製品ブロックの部分を、これが固体状態からペースト状態に変化するように構造破壊するメッシュを通過する。この状態は、上記製品のより良好な適用を可能にするため、特に有利である。口紅の場合、この状態は、使用者が、例えば、より良好な色、光沢又はマットな結果を得ることを可能にする。

【０００８】

そのため、使用されないときには化粧製品の固体形態、使用時にはそのペースト形態の利点が、使用時には上記製品の固体形態の不利点、すなわち、上記製品の適用が困難であること及びメイクアップ結果があまり満足できないこと、ならびに、使用されないときには上記製品のペースト形態の不利点、例えば乏しい機械的特性及び滲出現象を回避しながら得られる。

【０００９】
最大孔寸法のサイズの上記範囲は、使用者が、過度の力を適用する必要なく、メイクアップに必要とされる用量を得られるという良好なブロック構造破壊結果を生じさせる。さらに、ブロックが特定の固体形態にあるという事実は、特に良好な光沢又はマット性の結果を付与する配合物が得られ得、これらの配合物が、より可撓性のブロックの形態と相溶性でないことを意味している。さらに、機械的強度及びメッシュにおける孔のサイズのような上記の特徴に起因した、上記製品の固体状態からペースト状態への変化は、上記製品においていずれの他の操作、例えば、加熱操作も必要としないことが特に有利である。
【００１０】
孔の最大寸法は、１００μｍ及び４００μｍの間、好ましくは１５０μｍ及び３５０μｍの間、より好ましくは２００μｍ及び３００μｍの間であってよい。
【００１１】
有利には、メッシュの少なくとも１つは、孔間の縁から縁までの最小距離が１００μｍ及び３００μｍの間であるように配置される。
【００１２】
この配置はまた、使用者が、過度の力を適用する必要なく、良好なブロック構造破壊結果を得ることも助ける。メッシュにおける種々の隣接孔間の最小距離は、種々の孔間で一定でなくてもよい。メッシュにおける隣接孔間の最小距離の分布はまた、メッシュを通過する化粧製品が所要の方向に送付されるようにすることもできる。
【００１３】
孔間の最小距離は、１２０μｍ及び２８０μｍの間、好ましくは１４０μｍ及び２４０μｍの間、より好ましくは１８０μｍ及び２２０μｍの間であってよい。
【００１４】
好ましくは、メッシュ又はメッシュの少なくとも１つが製織されている。
【００１５】
メッシュは、したがって、織り合わせた横及び縦糸から構成される。
【００１６】
これらの糸は、異なる直径を有することができる。この特別な配置を使用して、特に、メッシュを通過する上記製品を所要の方向に送付して、例えば、特定のメイクアップ結果を得る。
【００１７】
メッシュ又はメッシュの少なくとも１つは、孔を有するプレートを備えることができる。
【００１８】
このメッシュは、例えば機械加工によって得られ、他の場合には例えば製織によって得ることが困難である開口部形状の輪郭、例えば円形、楕円形等を付与するのに使用される。
【００１９】
好ましくは、メッシュ又はメッシュの少なくとも１つにおける孔の全てが、積層可能な輪郭を有する。
【００２０】
そのため、上記製品のペーストは、孔を離脱するときにメッシュに均一に分布されて、上記製品の均一な適用を可能にする。
【００２１】
有利には、メッシュ又はメッシュの少なくとも１つが、積層可能でない輪郭を有する孔を有する。
【００２２】
ペーストは、したがって、化粧製品を適用するとき又は化粧製品をより正確に適用するために、ある一定の効果を得るように、メッシュの面における１以上の特定の位置においてより濃縮され得る。

【００２３】
好ましくは、孔の輪郭は、以下の形状：矩形、五角形、六角形、八角形、円形、卵形又は楕円形；の１つを有する。
【００２４】
これらの種々の形状のいくつかはまた、上記製品を、これがメッシュを通過するように指向させることも助ける。
【００２５】
より好ましくは、上記物品は、少なくとも２つのメッシュを、上記製品がメッシュを通過する方向に、１つを他のものの後に備える。
【００２６】
この特徴は、いくつかの利点を付与する。いくつかのメッシュの存在に起因して、上記製品は、より正確にガイドされ、各メッシュが、上記製品を、所要の方向に少し送付する。これらの連続するメッシュはまた、いくらかの化粧製品ブロックを固体からペースト状態に変化させるために使用者によって必要とされる力も低減する。したがって、上流メッシュは、まず、上記製品の部分の構造破壊を生じさせ、次いで、この部分が、下流メッシュを通してさらに構造破壊される。
【００２７】
有利には、２つのメッシュは、上流及び下流メッシュを形成していて、上流メッシュにおける孔の最大寸法は、下流メッシュにおける孔の最大寸法よりも大きく、これら２つの寸法間の比は、好ましくは、１を超えかつ１００以下である。
【００２８】
この特徴は、上記製品が、固体状態からペースト状態に変化することを容易にする。したがって、固体製品ブロックが、まず、固体製品からペースト状製品に変化するようにブロックを構造破壊させる、最大寸法の孔を有するメッシュを通過し、次いで、適用を容易にしかつより良好なメイクアップ結果を付与する製品を得るように既にペースト状態の製品の粘度を低減する、最小寸法の孔を有するメッシュを通過する。
【００２９】
好ましくは、上記物品は、上流メッシュと下流メッシュとの間に少なくとも１つの中間メッシュをさらに備え、中間メッシュにおける孔の最大寸法が、上流メッシュにおける孔の最大寸法及び下流メッシュにおける孔の最大寸法の間である。
【００３０】
本発明者らは、こうして、上流メッシュから下流メッシュに、連続するメッシュにおいて孔の最大寸法から漸進的に減少させる。化粧製品ブロックを固体状態からペースト状態に変化させるのに必要とされるエネルギーが、したがって低減される。使用者は、したがって、上記物品を使用するときにあまり力を適用しない。
【００３１】
有利には、化粧製品が、唇用の化粧製品である。
【００３２】
より好ましくは、上記物品は：
－らせん状の傾斜を有する本体と、
－少なくとも１つの直線状傾斜を有する製品分布チューブにおいて、メッシュが、上記チューブの遠位端に位置している、上記チューブと、
－上記チューブの内側に製品ブロックをスライドさせるようになっているピストンにおいて、本体のらせん状の傾斜及び上記チューブの直線状傾斜に沿ってそれぞれ進行するようになっている２つのスタッドに取り付けられている、上記ピストンと
をさらに備える。
【００３３】
そのため、使用者がチューブに対して本体を回すとき、ピストンのスタッドが、それぞれの傾斜に沿って進行し、ピストンが鉛直にスライドして、それと共に製品ブロックを上記物品の長手方向軸に沿って押し、この移動は、ピストンが軸の周りで回転することなく

、したがって、製品ブロックが回転することなく起こる。この特徴は、製品ブロックがメッシュを通過することを助けるため、特に有利である。上記製品が回転せずに吐出されるという事実はまた、チューブにベベル形状を与えるという利点を付与し、この形状は、メイクアップを簡素化するため、概して好ましい。

【図面の簡単な説明】

【００３４】

本発明者らは、図を参照して非限定例として付与される、本発明の実施形態をここで説明する：

【図１】本発明の３つの実施形態による物品の長手方向断面図である。

【図２】図１に示す物品の支持体に取り付けられたメッシュの斜視図である。

【図３】図２に示すメッシュの拡大部分平面図である。

【図４】メッシュの代替の実施形態の拡大部分平面図である。

【図５】図１に示す物品のピストン、チューブ及び本体のそれぞれ長手方向断面図である。

【図６】図８に示す物品のピストン、チューブ及び本体のそれぞれ長手方向断面図である。

【図７】図９に示す物品のピストン、チューブ及び本体のそれぞれ長手方向断面図である。

【図８】本発明の３つの実施形態による物品の長手方向断面図である。

【図９】本発明の３つの実施形態による物品の長手方向断面図である。

【図１０】製品のブロックの破壊指数を測定するのに使用されるデバイスの側面略図である。

【発明を実施するための形態】

【００３５】

本発明者らは、図１～１０を参照して唇用の化粧物品を説明する。本発明者らは、この物品が口紅である場合を以下で考察する。明らかに、唇用の化粧製品は、異なっていてよく、赤色の口紅に限定されず、化粧製品の色は、例えばピンク、黒、茶色等である。

【００３６】

デバイス

図１に示す化粧物品１の外箱は、本体２及びキャップ（図示せず）からなる。本体は、肩部によって形成された止め具を有し、これに対して、キャップが、本体がキャップに部分的に適合するように接触することができる。

【００３７】

本体は、２つのシリンダ形部分を備え、例えば、アプリケータ本体を横断する面において略方形断面であり、第２断面が、第１断面より小さい。これら２つの断面は、止め具によって離間されている。本体は、遠位及び近位端において中空でありかつ開放されている。本体の近位端の開口部１１は、アプリケータ本体を横断する面において、この端から延びる本体の底部３によって部分的に閉鎖されている。

【００３８】

本体２によって形成されるキャビティは、本体の軸１３に沿って、外側から内側に向かって、らせん状の傾斜を有するチューブ状要素４と、主な長手方向軸１３が一致しているチューブ５及びピストン６とを備える。

【００３９】

チューブ状要素４（図７参照）は、長手方向軸１３に対して垂直な面において環状断面を有する中空の概ねシリンダ形状を有し、両端で開放されている。上記要素は、実質的に平滑な外面と、チューブ状要素４の大部分にわたって延びるらせん状の傾斜７を形成する溝を有する内面とを有する。図７は、８つのらせん状回転を示す。明らかに、らせん状回転の数は、所要の効果に応じて、多かれ少なかれいずれかで異なっていてよい。この要素の近位端は、底部３にある。要素４の遠位端は、実質的に止め具まで延びる。この要素は、上記物品の本体２に堅く取り付けられている。

【００４０】
チューブ５（図６参照）は、軸１３に対して垂直な面において環状断面を有する中空シリンダを形成し、両端で開放されている。チューブ５の遠位端は、ベベル状である。明らかに、この端は、ベベル状でなくてよい。チューブ５は、チューブの近位端からチューブの中央部分に延びる２つの傾斜８を形成する２つのスロットを有する。概して細長い直線形状の傾斜は、軸１３と平行である。これらの傾斜は、この軸の各側において互いに正反対である。
【００４１】
ピストン６（図５参照）は、軸１３に対して垂直な面において環状断面を有する中空シリンダを形成する。ピストンの近位端は開放されており、その遠位端は斜めになっていて、ビュレットの底が挿入されるカップを形成するようにピストンの遠位端に対して僅かに後退している部９によって閉鎖されている。これにより、ビュレットとピストンとの間の接続を改良する。図１において、遠位端を閉鎖するピストンの部９は平坦であり、該部が斜めにもなるように軸１３に対して傾斜している。ピストンは、その近位部の外面において、ピストンの外面から突出している２つの正反対のガイドスタッド１０を有する。明らかに、これらのスタッドは、ピストンの外面における他の位置に設けられていてよい。これらのスタッドは、それぞれ、チューブ５の直線状傾斜８及びチューブ状要素４のらせん状の傾斜７に沿って進行するようになっている。場合により、ピストンは、その遠位端において、ピストンの遠位端の辺り一帯に延びるシールビーズ１２をさらに備える。ピストンをガイドするための他の手段も好適であり得る。
【００４２】
チューブ５の近位部は、したがって、本体及びチューブ状要素４の内側に収容されており、その遠位部は、外側に延びて、上記物品１の本体２から突出している。チューブは、好適なガイド手段によって、本体２及びチューブ状要素４によって形成されるアセンブリに対して軸１３の周りで回転移動可能に設置されている。ピストン６は、種々の傾斜７、８に沿って進行するようになっているスタッド１０に起因してチューブ５において並進移動可能に収容されている。
【００４３】
物品１は、固体ブロックの口紅又はビュレット１４をさらに備える。このビュレット１４は、軸１３に対して垂直な面において環状断面を有する、中空でない概してシリンダ形状を有する。ビュレット１４の遠位端は、ベベル形状を有する。明らかに、この端は、異なる形状を有していてよく、これらの形状は、当業者によって周知である。ビュレットの近位部は、ピストン６の遠位端９にある。ピストンは、したがって、チューブ５の内側で軸１３に沿ってビュレット１４をスライドさせることにより駆動するようになっている。
【００４４】
このビュレットは、２０℃で測定したとき、０．２Ｎ及び２０Ｎの間（すなわち、およそ２０グラムフォース及び２０００グラムフォースの間）の破壊指数を有する。
【００４５】
この測定は、例えば、参照試験ベンチＴＣＭ２０１Ｍ、及び、１３２ｍｍ／分のロッド低下速度で、Ｃｈａｔｉｌｌｏｎによって販売されている、参照ＤＦＳが５キログラムフォース（ｋｇｆ）（すなわち、およそ４９Ｎ）の力センサ２３（動力計）によって得られる。ビュレットの破壊指数は、ビュレットを破壊するのに適用されなければならない平均の力を表す。
【００４６】
この方法では、上記製品の温度は、結果に直接影響を及ぼしてから制御される。ビュレットは、公知の方法によって測定をする前に所要の温度に加熱されてよい。例えば、ビュレットは、２０℃にサーモスタット制御されたチャンバにおいて、又は２０℃に制御された室内に放置されてよい。上記製品の温度は、測定をする前にビュレットの中央に挿入した温度計を使用して温度が確実に１９．５℃及び２１．５℃の間になるようにして測定される。

【００４７】
概して、１ｋｇｆ又は５ｋｇｆの力センサが使用され得、１ｋｇｆの力センサは、１０００ｇｆ（すなわち、およそ９．８Ｎ）の最大測定値までの測定を可能にし、この範囲を超えると、５ｋｇｆの力センサが使用されなければならない。
【００４８】
図１０を参照すると、測定は、チューブ５と同じ直径のチューブ２４によってなされる。このチューブ２４は、できるだけ上記物品から遠くに、元の状態でビュレット１４と水平に置かれる。チューブは、ブロッキングリング２０及び取り付けネジ２１によって固定して保持されており、ビュレットのベベル状の面は、下方に指向されている（図１０参照）。挿入されたＶ形状の止め具を備えるロッド２２は、プログラムされた速度で、すなわち、この場合には１３２ｍｍ／分で鉛直に降下し、ビュレット１４を叩いてこれを破壊する。動力計２３は、ビュレットが破壊するときに測定される最大圧縮力に相当する値、すなわち、破壊指数を付与する。破壊指数の平均及び標準偏差を算出するために所与のビュレット配合物についていくつかの試験が行われてよい。
【００４９】
物品１は、概して環状の平坦形状のメッシュ１５をさらに備える。記載されている実施形態において、メッシュは、縦糸１８及び横糸１９を備える、例えば金属製の金網であり、これらの糸は、概して矩形状の孔１６を形成している。メッシュが金属製であるという事実は、特に最も遠位のメッシュに特に有利である、なぜなら、上記製品が唇に適用されるとき、この化粧製品が、使用者に心地よい「リフレッシュ」効果を生じるからである。孔１６の最大寸法ｄ、この場合、対角線は、５０μｍ及び４５０μｍの間である。横及び縦糸は、孔間の最小距離の値にもしたがって相当する、１００μｍ及び３００μｍの間の直径ａ、ｂを有する。メッシュ１５は、支持体１７を介してチューブ５の遠位端に堅く取り付けられている。この例において、孔は以下の通りである：
－最大寸法：２８０μｍ、
－幅：１００μｍ、
－長さ：２６１μｍ、
－縦糸の直径ａ：１５０μｍ、
－横糸の直径ｂ：１００μｍ、
－孔間の距離：１００μｍ。
【００５０】
支持体１７は、軸１３に対して垂直な面において環状断面を有する概してシリンダ形状を有する。メッシュ１５は、例えば、支持体１７と、メッシュに支持体をオーバーモールドすることによって連動しており、支持体は、プラスチック製である。支持体は、チューブ５に接続されており、この接続は、チューブの遠位端の辺り一帯でなされている。
【００５１】
図４は、機械加工によって作製される代替としてのメッシュを表しており、孔１６は、この場合、任意の好適な形状、円形、卵形又は他の形状を有している。
【００５２】
操作
アプリケータが使用されないとき、ピストン６は、その最も低い位置にあり、すなわち、その近位端が、上記物品の部分３に接触している。ビュレット１４は、メッシュ１５（図示せず）からある距離に位置しており、当該メッシュと対向している。
【００５３】
使用の際、使用者は両手で上記物品１を保持し、最初の手が、上記物品の本体から突出しているチューブ５の端を保持し、他方の手が、より大きな寸法の部で上記物品の本体２を保持する。
【００５４】
使用者は、軸１３の周りで、チューブに対して上記物品の本体２に回転移動を適用する。この回転移動は、チューブ状要素４のらせん状の傾斜７及びチューブ５の直線状傾斜８

を、ピストンの２つのガイドスタッド１０を介して移動させる。この移動は、軸１３に沿ったピストン６の直線状の並進又はスライド移動を引き起こし、ピストンが、そのビュレット１４と一緒に駆動している。並進移動は、ビュレット１４がメッシュ１５と接触するまで継続する。

【００５５】

使用者は、上記物品の本体２への回転移動を適用し続けることにより、ビュレット１４の端にメッシュ１５を通過させる。メッシュを通るこの通路は、固体ビュレット端部を構造破壊し、この端部は、薄片にカットされて、メッシュを通過した後に、メッシュの外側及びメッシュにおいてひいては再結合して、結果として、均一なペーストを形成することとなる。一旦、ビュレットがメッシュを横断して、構造破壊されてペーストになったら、このペーストは、容易に適用される。使用者は、このように、このペーストをその唇に容易に適用することができる。明らかに、製品ブロックの端のみが各適用において構造破壊されて、ビュレットの大部分がその一体性を維持している。ブロックは、適用の間、メッシュに達するにつれて構造破壊が進む。

【００５６】

図８に示す代替の実施形態において、上記物品１は、チューブ５の遠位端において２つのメッシュ１５を備え、これらの２つのメッシュが、互いに接触しており、同じ支持体１７に取り付けられている。２つのメッシュは互いに対向しておりかつ互いに平行である。

【００５７】

使用の際、ビュレットは、上流メッシュを通過し、次いで直後に下流メッシュを通過する。

【００５８】

この配置は、いくつかの利点を付与する。製品ブロックがかなりの程度まで構造破壊されて、より流動性のペーストが得られる。さらに、特に、近位又は上流メッシュにおける孔１６の最大寸法が遠位又は下流メッシュにおける孔１６の最大寸法よりも大きいとき、メッシュを通るビュレットの部分を押すのに必要とされる力が低減される。これらの２つの寸法間の比は、１を超えかつ１００以下、例えば６０に等しい。

【００５９】

これら２つのメッシュ１５は、同じ材料又は異なる材料でできていてよい。さらに、２つのメッシュは、同じメッシュ１５内で又は２つのメッシュの孔１６間で、輪郭が異なる形状を有する孔１６を有していてよい。例えば、第１メッシュの輪郭が、矩形状を有していてよく、第２メッシュの輪郭が、概して楕円の形状を有していてよい。明らかに、多数のメッシュ、例えば、３、４、５又は６つのメッシュが考慮されてよい。

【００６０】

図９に示す代替の実施形態において、上記物品１は、互いに付近にあって対向しているがこのとき互いに接触していない２つのメッシュ１５を備える。これらの２つのメッシュ間のスペースは、ビュレットが、第１メッシュ、すなわち、近位メッシュを横断した後、かつ、第２メッシュを通る通路の前に、ビュレットを収容するようになっている。これらの２つのメッシュ間の間隔は、例えばスペーサによって維持され得る。

【００６１】

この実施形態の利点は、先の実施形態の利点と同じである。したがって、より流動性の化粧製品ペーストが得られ、固体ビュレットから流体ペレットに変化するのに使用者によって必要とされる力が低減される。前述のように、多数のメッシュ、例えば、３、４、５又は６つのメッシュが考慮されてよい。

【００６２】

これら２つのメッシュ１５は、同じ材料又は異なる材料でできていてよい。さらに、２つのメッシュは、同じメッシュ１５内で又は２つのメッシュの孔１６間で、輪郭が異なる形状を有する孔１６を有していてよい。例えば、第１メッシュの輪郭が、矩形状を有していてよく、第２メッシュの輪郭が、概して楕円の形状を有していてよい。

【００６３】

明らかに、多数の変更が、本発明の範囲から離れることなくなされ得る。

【００６４】

記載されている実施形態は、ビュレットを押すメカニズムを使用する。当業者に公知のいずれの他のメカニズムが使用されてもよい。例えば、直線状の傾斜は、らせん状の傾斜を持つ部分の外側に延びることができる。しかし、らせん状の傾斜が直線状の傾斜の外側にある図を参照して記載されている構成は、らせんに低減されたピッチを付与し、したがって、使用者によってメッシュ（複数可）を通してビュレットを押すのに必要とされる力を低減する。

【００６５】

使用者にビュレットを直接上昇させるスライド力を付与させるメカニズムが考えられ得る。

【００６６】

ビュレットが本体に堅く取り付けられ、これが、ビュレット上に降下してビュレットを構造破壊するメッシュ（複数可）であるメカニズムも考えられ得る。

【００６７】

メッシュ（複数可）の１つは、製織されていなくてよいが、プレートを機械加工して孔を生じさせることによって作製され得、又は追加の製造技術（３Ｄ印刷）が使用され得る。

【００６８】

孔の寸法及び／又は分布は、メッシュの面にわたって変動し得る。

【００６９】

孔は、配合物を一方向により構造破壊するために、別のものよりも大きい寸法を有し得る。

【００７０】

メッシュは、凹面又は凸面でもよい。

【００７１】

メッシュは、プラスチック、繊維又は金属でできていてよい。

【００７２】

化粧製品は、顔の別の部分が意図され得る。特に、化粧製品は、体全体に適用されてよい。化粧製品は、口紅以外の化粧製品、例えば、ケア製品であり得る。

【図１】

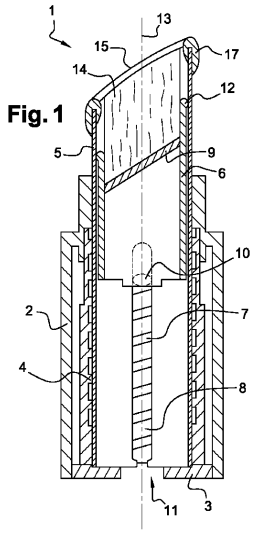

Fig. 1

【図２】

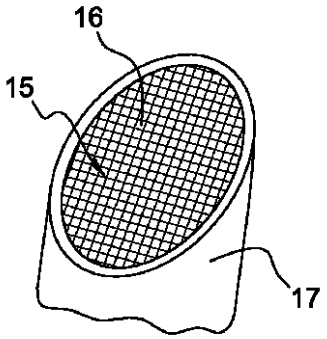

Fig. 2

【図３】

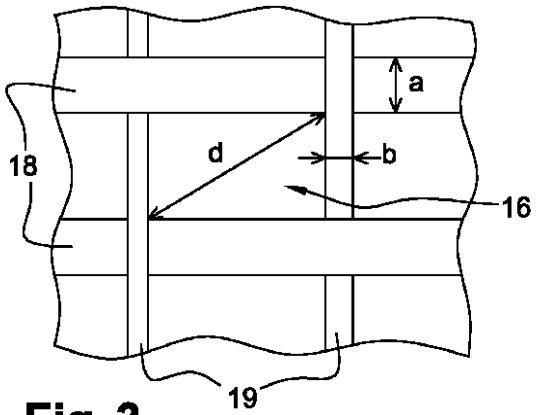

Fig. 3

【図４】

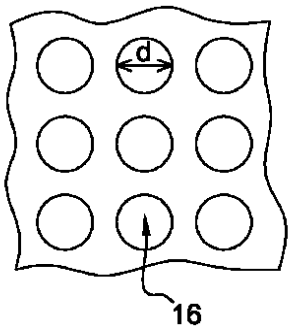

Fig. 4

【図５】

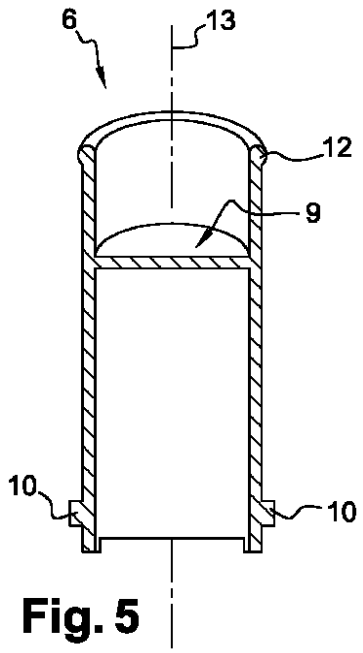

Fig. 5

【図６】

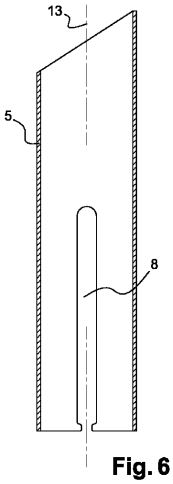

Fig. 6

【図７】

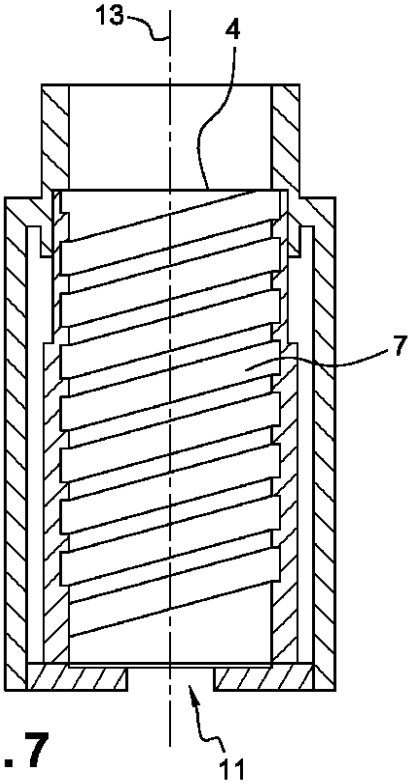

Fig. 7

【図８】

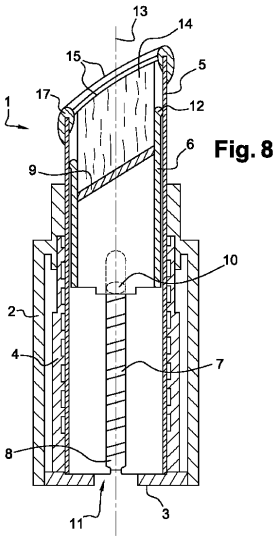

Fig. 8

【図９】

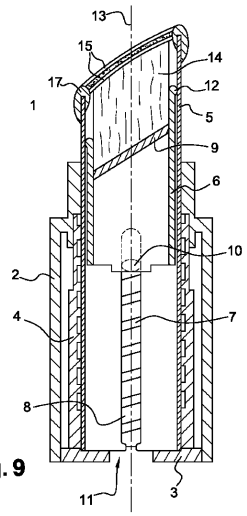

Fig. 9

【図１０】

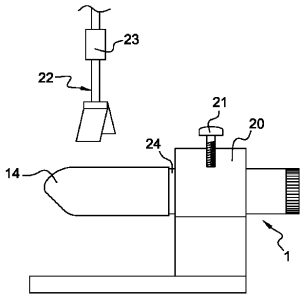

Fig. 10

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/FR2017/050208

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
INV. A45D40/06 A45D40/08
ADD.

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
A45D

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
EPO-Internal, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	FR 674 267 A (BAQUEY) 27 January 1930 (1930-01-27) page 1, line 47 - page 2, line 74 figures 1-6 -----	1-9,11, 12 10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
10 April 2017	20/04/2017

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Witkowska-Piela, A

1

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (April 2005)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No
PCT/FR2017/050208

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
FR 674267 A	27-01-1930	NONE	

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Demande internationale n°
PCT/FR2017/050208

A. CLASSEMENT DE L'OBJET DE LA DEMANDE
INV. A45D40/06 A45D40/08
ADD.

Selon la classification internationale des brevets (CIB) ou à la fois selon la classification nationale et la CIB

B. DOMAINES SUR LESQUELS LA RECHERCHE A PORTE

Documentation minimale consultée (système de classification suivi des symboles de classement)
A45D

Documentation consultée autre que la documentation minimale dans la mesure où ces documents relèvent des domaines sur lesquels a porté la recherche

Base de données électronique consultée au cours de la recherche internationale (nom de la base de données, et si cela est réalisable, termes de recherche utilisés)
EPO-Internal, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERES COMME PERTINENTS

Catégorie*	Identification des documents cités, avec, le cas échéant, l'indication des passages pertinents	no. des revendications visées
X A	FR 674 267 A (BAQUEY) 27 janvier 1930 (1930-01-27) page 1, ligne 47 - page 2, ligne 74 figures 1-6 -----	1-9,11, 12 10

☐ Voir la suite du cadre C pour la fin de la liste des documents

☒ Les documents de familles de brevets sont indiqués en annexe

* Catégories spéciales de documents cités:

"A" document définissant l'état général de la technique, non considéré comme particulièrement pertinent

"E" document antérieur, mais publié à la date de dépôt international ou après cette date

"L" document pouvant jeter un doute sur une revendication de priorité ou cité pour déterminer la date de publication d'une autre citation ou pour une raison spéciale (telle qu'indiquée)

"O" document se référant à une divulgation orale, à un usage, à une exposition ou tous autres moyens

"P" document publié avant la date de dépôt international, mais postérieurement à la date de priorité revendiquée

"T" document ultérieur publié après la date de dépôt international ou la date de priorité et n'appartenenant pas à l'état de la technique pertinent, mais cité pour comprendre le principe ou la théorie constituant la base de l'invention

"X" document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme nouvelle ou comme impliquant une activité inventive par rapport au document considéré isolément

"Y" document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme impliquant une activité inventive lorsque le document est associé à un ou plusieurs autres documents de même nature, cette combinaison étant évidente pour une personne du métier

"&" document qui fait partie de la même famille de brevets

Date à laquelle la recherche internationale a été effectivement achevée	Date d'expédition du présent rapport de recherche internationale
10 avril 2017	20/04/2017

Nom et adresse postale de l'administration chargée de la recherche internationale	Fonctionnaire autorisé
Office Européen des Brevets, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Witkowska-Piela, A

1

Formulaire PCT/ISA/210 (deuxième feuille) (avril 2005)

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Renseignements relatifs aux membres de familles de brevets

Demande internationale n°
PCT/FR2017/050208

Document brevet cité au rapport de recherche	Date de publication	Membre(s) de la famille de brevet(s)	Date de publication
FR 674267 A	27-01-1930	AUCUN	

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IR,IS,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ

(72)発明者 ニコラ カステクス
フランス国, ９２７００ コロンブ, ビラ ブランシャール ６, リュ デュ コメルス ４１

Ｆターム(参考) 3E014 KC05
4C083 CC13 DD21 DD22 DD47 EE07